

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハッピー相模大野ジョイモアーズ教室		
○保護者評価実施期間	2025年 7月 25日		2025年 8月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数) 24
○従業者評価実施期間	2025年 7月 19日		2025年 7月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 8月 23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ニーズや成長段階に合わせた支援を実施している	<ul style="list-style-type: none"> 利用者様の気持ちも聞きながら、自己肯定感を高められるようにプログラムの構成をしている。 必要に応じて、ハッピーの卒業時期等を保護者様と面談で確認している。 学校での出来事を面談などで聞き取ることで支援に生かし、ハッピー以外の生活に繋がられるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 子供発信でイベントや教室での活動を実施することで、自己肯定感を高めたり学校での係、委員会活動に繋がっていく。 作品展等を実施することで、お子さまの自己肯定感を高めると共に、保護者様がお子さまの良いところを見つけられるようにしていく。
2	保護者向けイベントを実施している	<ul style="list-style-type: none"> 学習や学校での様子等を保護者様同士でお話出来る場を提供することで、保護者様が安心出来るようにしている。 進学後の困りごと(姿勢保持、放課後の過ごし方等)を取り上げ、その分野に詳しい指導員がお話することで、困りごとの解決や先の見通しに繋がられるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 面談希望の用紙をモニタールームに設置する等、気軽に発信してもらえるようにしていく。 今後も様々なテーマで保護者様向けイベントを実施していく。
3	日々のコミュニケーションを大切にしている	<ul style="list-style-type: none"> 来所時・帰宅時には支援の担当でなくても声を掛けることで、好きなものや学校であったこと等の話が出来る機会を作るようにしている。 学校であったことや親には話づらい事等を話せる場になるよう支援の中で自由会話の時間を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども同士で自由に話が出来る場を提供していくと良いのではないかと。 自由会話だけで終わらずに、子どもたちが紹介したいものを掲示物などで他児に紹介出来るようにしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	小学校高学年の支援の幅	<ul style="list-style-type: none"> 高学年のお子さまへの支援の経験が職員全員少ない。 苦しさから繋がる学習の困難さに対して、学習支援を出来る職員が少ない。 高学年で同じ学年のお子さまが少ないため、コミュニケーションに繋がる課題なども入れづらい。 	<ul style="list-style-type: none"> 高学年や中高生のいる他教室の見学をすることで支援の幅を広げる。 学習特化の他事業所の情報を集めたり、見学に行くことで支援内容の引き出しを広げる。その後移行に繋げる。
2	移行先との繋がり	<ul style="list-style-type: none"> ハッピーを卒業した利用者が少ないため、実績や情報が無い。 他事業所や地域とのつながりが薄い。 進学先や方法について各々調べているが、実際の状況が不明な点が多く、利用者様に伝えられていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員が外に出る機会を多く作り、繋がりを増やす。 他事業所の情報シートを作成し、他事業所に聞く項目を統一することで、情報収集をしやすくする。また、そのシートを利用者様が閲覧出来るようにする。
3	活動の幅が狭い	<ul style="list-style-type: none"> 活動時間や部屋の広さに限界がある。 学年が上がるにつれて同学年での集団を編成することが難しい。 放課後等デイサービスでの経験の多い職員の支援を見学する機会が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 外出のイベントを企画していく。 異年齢と関わる機会を設けることで、ソーシャルスキルを実体験から学ぶことが出来るよう支援する。